

ともに生きる

「ともに生きる社会かながわ応援大使」である書家 かなざわ しょうこ 金澤翔子さんが書く「ともに生きる」を旗印に、県は共生社会の実現を目指し、障がい者が幅広い分野で活躍できるよう、障がい者雇用の支援など、さまざまな取り組みを進めています。



障がい者雇用については ②③ でご紹介

7月22日～28日は、ともに生きる社会かながわ推進週間です

8年前の7月26日。あの日の衝撃を私は忘れることができません。「意思疎通が図れない人間は生きている意味がない」というでたらめな考えで、元職員の植松死刑囚が19人もの尊いのちを奪った「津久井やまゆり園事件」。

このような事件を二度と繰り返してはならないという強い決意の下、私たちは県議会と一緒に「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定し、理念の普及に全力をあげてきました。

憲章が目指しているのは、誰もが支え合い、愛と思いやりにあふれ、みんなのいのちが輝く社会の実現であり、そのためには、

一人一人が相手の目線に立って、相手を思いやる心や行動が大切です。

「思いやりの心」が人から人に伝わり、「思いやりの連鎖」を生み出していけるように、県民、事業者の皆さんと行政が一体となって取り組んでいきたいと考えています。

県民の皆さんのご協力をいただきながら、今後も「ともに生きる社会」の実現に向けて歩んでまいります。

神奈川県知事 高橋祐治





専務取締役 青野 真幸さん

LinkLine

株式会社リンクライン(小田原市)は、社員の約8割が障がいのある社員(メンバー)で、メンバーの豊かな表現力と高い技術力を戦力に、アイスキャンディーのようにカラフルでお肌に優しい**せっけん**を製作しています。



障がいのある社員のコメント

障がい特性について否定せず
私自身を理解しようと話を聞いてくれるので
のびのび働けます。

得意のプログラミングを生かして各種書類の作成や、SNS上の情報の集約・データベース化といった仕事をしています。リモートワークが主体でパソコンを使用した連絡が多く、文字でコミュニケーションが取れるので、今の職場環境は自分に合っています。

SNSのデータベース化



GREE

Business Operations

グリービジネスオペレーションズ株式会社(横浜市)では、ゲームのシナリオ確認やテストプレイ、各種社内申請書の確認など250種類を超える業務を請け負っています。



社員がそれぞれの特性を生かして働くためには、やりがいや楽しさを本人からきちんとヒアリングして、相談しやすい環境をつくっておくことが非常に大事です。

代表取締役社長 山本 千晴さん

当事者目線に立った 異次元の障がい者雇用を進めます

県は、障がい者の働き方の選択自分らしく働くことで喜びを実感できます。実際に、障がい者の多様な働

肢を広げ、一人一人の特性に応じて、きる地域共生社会の実現を目指していきます。方を推進している企業をご紹介します。

障がいのある社員のコメント

入社当時は全くの未経験でしたが、仕事を覚えられました。

入社して7年になります。レーザー加工を3年、溶接を4年やってきました。周りの皆さんが積極的に教えに来てくれるので、仕事を覚えられました。外国籍の方が多いので初めは言葉の壁がありましたが、普段からよく話したりプライベートで会ったりして、コミュニケーションを取れるようになりました。

障がいのある社員のコメント

「あなたに期待している」と
言われることがとても嬉しいです。

リンクラインに入社して14年になります。「大変そうな後輩を見つけたら駆け付けよう!」、そんな頼りがいのある先輩になりたいと思っています。私たちのせっけんを全国に届けていきたいです。

色とりどりのせっけん



障がい者のできる仕事がないと思うのは勘違いです。最初は時間がかかるかもしれませんが、配慮があればできる仕事に違いはありません。それぞれが礼節をもって、能力や個性を尊重することが、企業として成長するための原動力であると考えています。

代表取締役 伊藤 正貴さん

栄和産業

株式会社栄和産業(綾瀬市)では、自動車などの機械部品の製造や組み立て等において障がい者16名、外国籍の方51名が活躍しています。特別支援学校などからの職場実習の受け入れも行っていきます。



機械部品の溶接



ハンドメイドせっけん



【上記記事に関する問合せ】障がい者の雇用促進については県雇用労政課 ☎045(210)5871 FAX 045(210)8873
ともに生きる社会かながわ推進週間については県共生推進本部 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854

開館70周年記念 子どものための音楽堂

●開催日時:8月3日(土)10時~16時 ●会場:県立音楽堂(横浜市西区紅葉ヶ丘9-2)
●交通:JR・市営地下鉄 桜木町駅から徒歩10分

せかいはともだち!

就学児から大人まで、国籍にかかわらず、多様な音楽や文化に親しむイベントです。人気絵本「スイミー」と音楽の協演、沖縄の伝統的な歌三線、琉球箏、琉球笛によるコンサート、カンボジアのクメールダンス、ブラジルのカポエイラなどを無料で体験できます。イベントを通して、違う国の文化を知り、一緒に楽しんで友達になりましょう。

イベントについての問合せ:
県立音楽堂 ☎045(263)2567(9時~17時 月曜休館)

【上記記事に関する問合せ】県文化課 ☎045(210)3806 FAX 045(210)8870

入場無料
要予約

申込方法等
詳しくはこちら



ともに生きる:

今月は、ホワイトハンドコーラスNIPPONの松澤 夏鈴さんに伺いました! /



このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

音楽の力でインクルーシブな社会をつくります!

ホワイトハンドコーラスNIPPONは、どんな人でも参加できるインクルーシブな合唱団です。聴覚障がいのある子どもを中心に白い手袋をはめて音楽を手歌で表現するサイン隊と、視覚障がいのある子どもを中心に歌声で表現する声隊の合唱により、あらゆる人があらゆる形で楽しめる音楽を奏でています。今年2月には、バリアフリーの国際賞「ゼロ・プロジェクト・アワード2024」を受賞し、オーストリア・ウィーンの国会議事堂や国連事務局で私たちの合唱を披露しました。私たちが表現する新しい音楽の力で、ともに生きるインクルーシブな未来をつくることを目指し、誰もが楽しめる音楽を届けたいです!

ホワイトハンド
コーラスNIPPON
についてはこちら



団体設立当初からサイン隊で参加する松澤 夏鈴さん

共に生きる社会 かながわ憲章

2022年10月14日 神奈川県

ともに生きる社会 かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

憲章については
こちら



【上記記事に関する問合せ】県共生推進本部 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854

📷 私の好きな神奈川 (投稿写真)

リアル ゴールド コースト 「Real Gold Coast」

(写真:川崎市・沈 一漢さん)

お正月の朝に見た県立湘南海岸公園は、オーストラリアの都市 ゴールドコーストの美しいビーチのような風景でした。(令和6年1月撮影)

■場所:県立湘南海岸公園(藤沢市)



かながわ 県のたより

編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は6月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

海や川のことをよく知り、夏を楽しもう!

💧 川の急な増水に注意!

川での楽しい釣りや水遊びも、時に急な増水で水難事故につながる可能性があります。水難事故を未然に防ぐため、テレビなどで天気予報を確認し、川を楽しみましょう。県は、川の水位などの情報をリアルタイムで提供しています。

県雨量水位情報

カメラ画像や水位など川のリアルタイムな情報を確認できます。



川で遊ぶ時の注意点

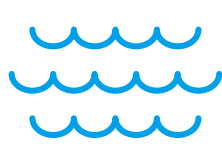
詳しくはこちら



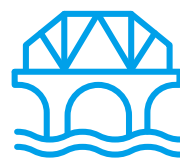
ライフジャケットをきちんと着用しよう



川の様子を確認し危険な所には近づかないようにしましょう
流れの激しい所や深い所など



橋の下での雨宿りはやめよう
雨で急に川が増水して流される可能性があります



💧 海で遊ぶ時は離岸流に注意!

離岸流という沖へ向かう水の流れを知っていますか? 海水浴場での事故の多くは、この流れに乗って沖へ流されてしまうことから発生しています。

POINT 離岸流の見分け方

- ・周りと違って濁った色に見える。
- ・浮き輪など浮遊物が沖へ流れる。

POINT 離岸流からの脱出方法

浜に対して平行に泳いで離岸流から脱出し、その後、浜に向かって泳ぎましょう。

ライフセーバーの監視している所、赤と黄色の旗の間・遊泳区域内で泳ぎましょう!

詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】県河港課

川の水難事故防止については ☎045(210)6491 FAX 045(210)8897 / 海の水難事故防止については ☎045(210)6514 FAX 045(210)8897

献血をもっと身近に多くの方に

県は、将来にわたって輸血が必要な方へ血液を届けるために、幼少期からの普及啓発活動を行っています。また、子育て中などで献血に行きにくい方が、より気軽に献血に来やすい環境づくりに協力をしています。

献血ルームでの「お子様見守りサービス」のご案内

小さなお子様がいる方にも安心して献血に来ていただけるよう「海老名献血ルーム」と「かわさきフロン献血ルーム」の2カ所で、お子様見守りサービスを実施しています。(事前予約制)

詳しくはこちら



入場無料 体験学習イベント「キッズ献血」

パネル展示やけんけつちゃんとの記念撮影、献血の疑似体験などを通じて、楽しみながら献血の大切さを学べるイベントです。

- 日程:8月17日(土) 10時30分~12時30分、13時30分~16時
- 会場:トレッサ横浜(横浜市港北区師岡町700)



けんけつちゃん



7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。

夏季は長期休暇等で企業などからの献血が少なくなり、輸血用血液が不足しがちです。輸血を必要とする方々に血液を届けるため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【上記記事に関する問合せ】県薬務課 ☎045(210)4964 FAX 045(201)9025